

令和5年 第2回 日本咬合学会 臨床研修・認定セミナー

全身健康を考えた進化する最新丸山咬合医療
—咬合から認知症の予防・アンチエイジング・免疫向上の獲得—



丸山剛郎大阪大学名誉教授
日本咬合臨床研究所所長

日時:令和5年2月12日(日)午前9時30分から午後4時まで
会場:都市センターホテル7階(703会議室)
東京都千代田区平河町2-4-1 Tel 03(3265)8211

今年度第2回臨床研修認定セミナーが、3年ぶりに対面形式で都市センターホテルにて開催されます。

丸山咬合医療は身体と心の健康の改善から、認知症の予防、アンチエイジング、免疫向上にまで及び、丸山剛郎先生の提唱する21世紀の新しい歯科医学・医療で着々とそのエビデンスを重ね、ますます注目されています。この事実は、丸山剛郎大阪大学名誉教授と澤口俊之武蔵野学院大学院教授との共同研究により、咬合医療で脳全体活動部位の変化(効率化・活性化)等から証明されています。

依然としてコロナ禍での講演会開催ということで、対面セミナー形式とWeb(後日配信有)での同時配信の形式をとり、いずれかの方法で参加いただけるようにしております。

尚、このセミナーを受講し日本咬合学会に入会していただきますと、日本咬合学会認定医の資格が得られ、さらなる研修で日本咬合学会専門医資格習得も可能です。

『セミナー内容』

午前の部 講師:丸山剛郎大阪大学名誉教授

次々と新たな事実が発掘され、分析、理論化されている丸山咬合医療は、どのような背景から生まれ考案されたのか、また、どうしてその必要性に迫られたのか。さらに、臨床においての咬合と症状のつながりの診断法など、その基本的な考え方と習得への近道をご講演して頂きます。

午後の部 東日本、に日本部会会員質問事項 講師:丸山剛郎大阪大学名誉教授

1. 日常の保険治療の中に丸山咬合理論を取り入れる方法をお願い致します。 横田哲史先生
2. 顎のずれがナソロジーと逆でした。顎位の診断の歴史的変遷について、 桜井直樹先生
3. 下顎位の診断の仕方、正面から顔面の左右差、側面からの下顎角の見方など。 須藤和香先生
4. 下顎位と全身症状とのつながりの考え方、見方を基礎からお願いいたします。 中上恵子先生
5. 咬合治療が認知症予防につながるエビデンスの解説をお願い致します。 前田静一先生
6. 左ローリングが原因で体軸の垂直的異常が起き、左股関節痛、右外反母趾が発生した症例について、咀嚼機能、限界運動の因子の中にも、ローリング、ピッチングの考え方は存在するのか。 戸栗和慶先生
7. 50肩でのリシェイピングは、咬合形態の異常そのものからか?機能異常からか? 栗本武俊先生
8. 総義歯製作時のバイトの取り方?上顎の八重歯は全身健康には影響がないと考えてよいでしょうか? 宮原光春先生
9. MFA 作製時、捻転した歯牙が1.2本ある場合におけるベベルの付け方について 畑達也先生
10. MFA の修理 調整の仕方 歯石等の付着を取り除いた後の処置について 平井由香里先生
11. 金さん、銀さんが長生きできたのは、丸山咬合論からどのように考察できるのでしょうか。 匿名希望
12. インビザライン治療における獲得顎位について 塚原隆先生

(会長 青木隆典・鍋崎和義・戸栗和慶)
(認定委員長 戸栗和慶)

- 受講料/非会員 歯科医師・技工士・衛生士・スタッフ 10,000円
学会会員 歯科医師 20,000円
技工士 10,000円
衛生士・スタッフ 10,000円

●お振込先/紀陽銀行 岩出支店 普通口座:1111706 口座名:日本咬合学会 会計 青木隆典
主催 NPO 法人 日本咬合学会

NPO 法人日本咬合学会第2回認定セミナー申込書

ふりがな	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 歯科医師	ふりがな	TEL	
氏名	<input type="checkbox"/> 非会員	<input type="checkbox"/> 技工士	勤務先	FAX	
住所 〒				E-mail	
参加形式	会場参加 ・ リモート参加		会場参加の場合の昼食	必要 ・ 不要	

申込み・問合せ先 戸栗歯科医院 〒185-0011 東京都国分寺市本多2丁目14-28 TEL:042-325-6682
メールアドレス: ktoguri@coral.ocn.ne.jp

※可能な限り記載事項をメールでお申込みください。

かみあわせの医療セミナー